

TCU-COM

01 後援会副会長挨拶

02 平成23年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

05 平成23年度 就職動向と支援

09 キャンパスSpot®

11 クラブ活動紹介®

17 Campus Topics

19 平成23年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

後援会副会長挨拶

努力を続けるということ

後援会副会長を務めさせていただいています末永です。

学校関係者並びに保護者の方々には常に後援会へ多くのご支援をいただき深く感謝申し上げます。

さて、大学とは最高の学問の府で、大いに学び、仲間との議論・交友を楽しみ、そして社会人としての旅立ちに備える場所と思います。大いなる不安と同時に大きな希望を持って巣立つこととなります。ただ私が大学を卒業して気付かされたのは、実社会は大学では学ばなかったより沢山の事柄に溢れ、それが常に進化し変化し続ける、さらに大きな世界だということでした。そしてその世界では、さらに学び続けるという努力が重要であることを実感させられました。

しかし、多かれ少なかれ何かを目指して学ぶ努力は誰でもされています。学びは結果を求めるだけではありませんが、時として人生での失敗と成功があります。その差の多くは継続する努力があるか無いかなのではと思います。この世界で成功された方々を思い浮かべてみますと学問に限らずスポーツ、芸術あるいは趣味でも常に学び、前へ向かって上昇する努力をし続ける人であるという事実です。社会は何時でもそのような人を喜んで受け入れています。一度ならず失敗して涙を流しても、それでも努力をし続ける人を大好きな場所が社会なのです。

大学では、この常に努力を続けるという自分を築き上げて社会へと旅立っていただければと願っています。小さい努力でも大きいチャレンジでも後援会はそのような人を応援し続けています。



東京都市大学
後援会副会長

末永 敏男



平成23年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

毎年、後援会と大学の共催により全国各地で実施されている「大学と保護者との連絡会」。平成23年度は、東日本大震災の影響を考慮して、その掉尾を飾る世田谷・横浜・等々力3キャンパスにおける連絡会を、10月15日(土)および10月22日(土)の両日に分けて実施しました。ここではご参加された保護者の方の感想などをまじえレポートします。



「大学と保護者との連絡会」は、学生指導に深く関わる教職員や卒業生が全国各地の会場に出向き、大学の現況や学生生活、就職状況などを説明するとともに、保護者の方々からの疑問・質問に回答する、双方向の“連絡会”です。平成23年度は全19会場での開催後、最終を飾る大学キャンパスでの連絡会を、震災の影響から2日間に分けて実施。両日とも、午後0時過ぎに受付を開始し、学科説明会、学年別懇談会、希望者のみ個人面談を行うという日程でした(全キャンパス共通)。なお、例年設けられていた学食での試食会やキャンパス見学、課外活動紹介などは割愛いたしましたが、これに対して一部の保護者から「かえって濃密な説明が聞けた」とご好評の声もいただいております。

世田谷キャンパス

保護者最大の関心事は就職と進学について 就職氷河期でも“強い都市大”をアピール

工学部と知識工学部を擁する世田谷キャンパスでは、両日ともに、会場がいっぱいになるほど多くの参加者に恵まれました。各学科に分かれての説明会では、主任教授らが学科の特色と就職・進学の動向などについて説明し、続いて教務担当、就職担当の教員が、単位取得や大学院進学の日安などの学習面、インターンシップや企業へのアプローチなど大学側の就職サポートの現況などについて解説しました。保護者にとって最大の関心事は、やはり就職・進学など将来について。15日の都市工学科説明会で登壇した就職担当の丸山収教授は、「教員ときちんと相談しながら活動していけば必ず就職できる」と力強いメッセージを発信。また、22日の経営システム工学科説明会では、知識工学部長の宮内新教授が「本学の卒業生たちは後輩のため大学に求人活動にやってくる。とても結びつきが強い」と語ると、保護者の多くが納得したように大きく頷いていました。

開催日／実施対象学科

10月15日(土)

世田谷キャンパス 機械工学科／原子力安全工学科／生体医工学科／電気電子工学科／エネルギー化学科／都市工学科

横浜キャンパス 環境情報学科

等々力キャンパス 都市生活学科

10月22日(土)

世田谷キャンパス 機械システム工学科／建築学科／情報科学科／情報ネットワーク工学科／経営システム(応用情報)工学科／自然科学科

横浜キャンパス 情報メディア学科

等々力キャンパス 児童学科



世田谷キャンパス



受付開始は例年よりも遅くお昼過ぎから(世田谷キャンパス)



学科説明会(世田谷キャンパス)

横浜キャンパス

震災後の社会に貢献する環境情報学部 特色在る人材育成策に保護者も共感

環境情報学部がある横浜キャンパス。15日の環境情報学科説明会で、学部長の吉崎真司教授が、「環境情報学部は問題解決型の人材育成を目指している。震災後の社会に大いに役立つはず」とその特色をアピール。キャリア委員長の中原秀樹教授も「環境業界が即戦力を必要としている。震災直後にいったん落ち込んだ(環境情報学部への)求人も回復し、現時点で(学生一人当たり)16.4社からオファーが来ている」と、その就職力の高さを例証しました。

22日の情報メディア学科説明会では、学科主任の奥平雅士教授が、「地域、海外との連携を重視している」と、そのグローバルなポリシーを披露。また、キャリア委員長の家木俊温教授は、「就職の早期化が顕著になっている。保護者の皆さんも、早期からお子さんと将来について話し合うべき」とアドバイスしました。両日とも横浜キャンパスは、多数の保護者で活気にあふれました。



横浜キャンパス



学科説明会での吉崎環境情報学部長
(横浜キャンパス)

等々力キャンパス

学科をあげて就職支援に取り組む都市生活学科 幅広い知識を備える保育者を養成する児童学科

等々力キャンパスでは、15日に都市生活学部都市生活学科、22日に人間科学部児童学科の連絡会を実施しました。

都市生活学科では、学部長の平本一雄教授らから、全教員が一人3社ずつ企業回りをしていること、企業説明会を等々力キャンパスで実施していることなどが紹介されました。

児童学科では、学部長の近藤雅雄教授が「毎年志願者が増えている」と人気の高さを紹介すると、教務委員長の岩田遵子教授も「幼児教育・福祉分野は人材不足のために売り手市場が続いている。当学科は、人間に関わる幅広い知識を学びながら、子どものスペシャリストを養成している」と、学科の意義をあらためて説明しました。



等々力キャンパス



個人面談(等々力キャンパス)

なお、今年度、全国の連絡会へのご参加は全1,544世帯。来年もより多くの方々のご参集をお願いいたします。

静岡会場

ひしひしと感じた大学への期待

横浜キャンパス 学生支援センター係長 高橋 博

平成23年度「大学と保護者との連絡会」静岡会場は、平成23年9月4日(日)午前10時より、静岡グランドホテル中島屋にて開催され、59世帯78名の保護者の方々にご参加いただきました。台風12号の影響で天気が悪いにも関わらず、ほぼ予定通りにご参加いただき、大学への関心の高さを感じました。

本会では、大学の近況に始まり、学生生活、学修(成績・進学)、就職等の説明を、プロジェクター投影によるパワーポイントをもとに、画像、写真、数値データ等を交えて行い、保護者の方は、時折頷いたり、熱心にメモをとられたりしながら真剣に耳を傾けておられました。

大学側参加者の説明後には、同窓会組織である武蔵工業会静岡支部の太田様より、県内の就職状況や現地工業会の活動等について、貴重なお話や情報をご提供いただきました。本学卒業生のバックアップ

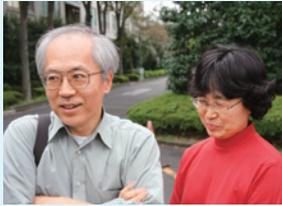


体制について、心強く思われた方も多かったのではないかと思います。その後、質疑応答で、「成績通知書の内容」「大学院と学部の就職の違い」「大学院進学率や進学のメリット」など、活発なご意見やご質問をいただきました。閉会後は、希望者のみを対象として、個人面談をさせていただきました。

静岡会場の保護者の方々とは直接お会いし、お話することで、大学に対する期待の大きさをひしひしと感じ、責任を感じると共に、その期待に応えられるよう、今後の大学の発展に貢献したいと、決意を新たにいたしました。

参加された保護者の方々の感想

世田谷キャンパス



高橋 司君(機械3年)のご両親

私自身、大学院進学が就職かで悩んだ経験があります。子どもにはなるべく早めに決定、行動してもらいたいと感じています。



荒井 佑介君(原子力4年)のお母さん

就職氷河期だと心配していましたが、他の大学と比べて就職に強いと聞き、安心しました。子どもの未来に期待しています。



薄葉 央貴君(電気1年)のお父さん

フレッシューズキャンパスなど、大学に親しむための行事が震災で中止になったのは残念。今後の大学のサポートに注目します。



石野 貴裕君(都市3年)のお母さん

説明会に参加して、内定率が高いことや、優れた企業に就職した卒業生が在大学生を引っ張ってくれることがよく分かりました。



丸山順也君(機シ3年)のお父さん

よりいっそう専門性を高めるため、息子には大学院に進学してもらいたい。関連する情報をいろいろと知ることができたので、参加して良かったと思います。



牧 歩嵩さん(自然1年)のお母さん

教員の割合が、学生10人に一人と聞き、面が見がいいなと思いました。キャンパスもこじんまりとしていて、教職員の目が行き届きそう。素敵な雰囲気ですね。



鈴木 英祐君(情ネ3年)のお父さん

4回目の来校ですが、校舎がぐっときれいになりましたね、息子も3年生になりましたから、進路についていろいろ伺えたのはとても有意義だったと思います。



坂田 伸哉君(建築3年)のお父さん

やっぱり就職の困難な時代ですから、気になるのは子どもの将来のこと。学年別の懇談会で、就職や進学について具体的な話を聞けたので参考になりました。

横浜キャンパス



安田 拓君(環境4年)のお母さん

遠くから通学している子どもの気持ちを味わいに来ました。ピオオーブなど環境に配慮し、緑豊かなキャンパスは小さいながらもとても素晴らしいですね。



森口 純さん(環境1年)のお母さん

クラス別懇談会が非常にアットホームな雰囲気、来てよかったです。学生生活や単位のことなど、説明してもらったことを子どもと話してみようと思います。



松宮 綾香さん(環境1年)のお母さん

学科説明会で就職関連の説明を詳しくしてくださいだったので、とても為になりました。子どものクラスは、積極性のある学生が集まっているのだと発見しました。



大和 玲奈さん(情メ1年)のお母さん

実はこれで3回目の来校です。今回は大学の現状を知りたくて来ました。来るたびに思うことですが、キャンパス全体からエコの香りが感じられますね。



小山 開地君(情メ1年)のお母さん

大学の様子を知りたくて参加しました。キャンパス内も素敵ですけど、街全体の雰囲気も素晴らしい、とても良いロケーションだと思います。



古川 英幸君(情メ4年)のお母さん

進路について個別面談を受け、いろいろアドバイスをもらいました。グローバル化が進む今、連絡会で英語通訳を取り入れてもいいかもしれませんね。

等々力キャンパス



渡邊 翔平君(都市生活1年)のご両親

ふだんの大学生活がどのようなものか知りたくて来ました。駅から少し距離はありましたが、きれいなキャンパスですね。



田辺 快土君(都市生活2年)のお父さん

文系でありながらインテリアのデザインなどもできるなど、この学科の特徴的なところを、就職面で生かしてほしいと思います。



高橋 由芽さん(児童1年)のご両親

娘には保育士を目指してほしいのですが、ただそのための知識だけではなく、幅広い教養をこの大学で身につけてほしいと思います。



池 慧さん(児童2年)のお母さん

キャンパスには落ち着きがあり、教室も清潔で学習しやすいですね。先生方が親身になって教育されていることが肌身で分かりました。

平成23年度 就職動向と支援

① 「早く」「長く」「複雑に」厳しさを増す就職氷河期の現実

平成23年3月卒の就職戦線は、これまで類を見ないと
言ってもよいほどに厳しいシーズンとなりました。各種報道に
もありますように、全国的に多くの学生が就職留年・就職浪
人という選択を余儀なくされました。

就職活動は年々「早くスタート」し、「長期間にわたって続
く」だけでなく、「選考プロセスが複雑化していく」傾向にあ
ります。“就職活動の前哨戦”とも言われるインターンシップ
への参加も含めると、3年生の6月から卒業まで、4年間しか
ない学生生活の中で、相当な長期間にわたって就職活動を
続けなければならない学生も現れ始めています。

また、就職戦線が厳しさを増すことで、内定獲得への不安
を抱える学生が「少しでも多くエントリーしておきたい」とい
う心理状態に陥り、企業へのエントリー(採用試験への申込)
を倍増させていることから、大手企業のみならず、中小企業
の選考でも競争が激化しています。

そのため、初期段階の選考からかなり厳しい絞り込みが
行われており、面接においても、「自己分析」に基づいて、よ
りわかりやすく、具体的に自分自身をPRすることが求めら
れ、勉学はもちろんのこと、課外活動やアルバイトなど、幅広
い活動の中で自分自身を売り込んでいく姿勢が求められる
ようになってきました。

その一方で、「就業意識が希薄」「仕事理解が不十分」な
学生も目立つようになってきており、「エントリーをしている
学生のうち、実際に評価できる学生は少数しかいない」と言
われるような、学生の希望と企業のニーズがマッチしないとい
う矛盾や、特定の学生のみ之内定が集中するといった「二
極化」現象も現れ始めています。

また、安定志向の強まりから、大企業への人気集中する
だけでなく、公務員の人気も急激に高まっています。更に、
首都圏の求人数に対して地方の求人とは圧倒的に少ないこと
など、学生を取り巻く環境は依然として厳しさを増している
状況です。

② 本学の取り組み、「キャリア支援センター」の設立

平成23年7月1日、更なる学生サービスの向上を目指し、
従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般にかかわ
る幅広く充実したサービスを提供できる「キャリア支援セン
ター」として新たなスタートを切ることになりました。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員
が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将
来の進路についての的確なアドバイスを受けることが出来ま
す。常駐している職員のほとんどがキャリアカウンセラーの

有資格者であり、キャリアにかかわることはどんなことでも
安心してご相談頂けます。また、過去の先輩学生による密度
の濃い情報をはじめ、就職活動支援サービス会社の各種資
料なども豊富に提供しております。

学生の進路に関する意識が多様化し、更に厳しさを増す
就職戦線に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注
力致しますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援
を賜りますよう、お願い申し上げます。

③ 本学の支援

こうした状況に対応すべく、本学では先にご案内致しまし
た通り、「キャリア支援センター」を創設し、就職支援の充実・
強化を図りました。これにより、各学科の就職担当教員と一
緒になって、強力で学生をバックアップするとともに、各学
科、各キャンパスの強みや特徴を活かして、一人ひとりの
ニーズにあった支援を展開しています。

学内で実施している就職支援行事は100回以上にのぼ
り、徹底してキャリアについて考える機会を提供しておりま
す。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みで
ある「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、各キャン
パスごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実
した支援体制を整えております。

もちろん個別相談も充実しており、キャリアカウンセラー
による面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指
導も積極的にを行い、基礎から応用まで、幅広い指導をしてい
ます。

また、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけ
を検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を
強力で支援しております。

④ 今年度の状況

今後の就職状況は、震災の影響等もあり昨年に引き続き
全国的に厳しい結果となっており、文部科学省発表の10月
時点での内定率は「59.9%」となりました。本学では現時点
で工学部が85.5%、知識工学部が76.6%、環境情報学部
が62.5%、大学院工学研究科が87.3%、環境情報学研究
科が66.7%となっており、厳しい状況にもかかわらず、全体的
にはほぼ昨年を上回る実績を上げております。

今後は就職環境の厳しさもさることながら、就職活動学
生の「モチベーションの維持」「動き続ける姿勢」が重要なポ
イントになっております。キャリア支援センターでは多数の
「本学学生だけの求人」を含め、まだ十分に求人情報もござ
います。現在も活動中の学生への支援を最優先にしております
ので、ぜひ大学のキャリア支援センターを活用されるよう、
学生ご本人にご指導頂ければ幸いです。



平成23年度 主な就職内定先企業等 (平成23年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

工学部・知識工学部・大学院工学研究科

■ 輸送用機器	京セラ……………2	東急電鉄……………1
スズキ……………5	富士通ゼネラル……………2	東京地下鉄……………1
トヨタ自動車……………3	アルプス電気……………2	ゆりかもめ……………1
三菱自動車工業……………3	京三製作所……………2	■ 建設
本田技研工業……………2	セイコーエプソン……………1	鹿島建設……………6
日野自動車……………2	パナソニック……………1	大成建設……………5
UDトラック……………2	富士ゼロックス……………1	大和ハウス……………4
日産自動車……………1	村田製作所……………1	清水建設……………3
マツダ……………1	■ 情報通信サービス	大林組……………2
いすゞ自動車……………1	ヤフー……………5	竹中工務店……………2
■ 電気・精密機器	日立ソリューションズ……………4	五洋建設……………2
日立製作所……………9	NTTデータ……………3	■ その他
三菱電機……………6	NSD……………2	東京都庁……………5
キャノン……………5	野村総合研究所……………1	横浜市……………5
富士電機……………4	■ 運輸	その他政令指定都市……………6
パイオニア……………4	JR東日本……………9	凸版印刷……………5
東芝……………2	JR東海……………2	NHK……………1
NEC……………2	JR西日本……………2	KDDI……………1
富士通……………2	小田急電鉄……………2	

環境情報学部・大学院環境情報学研究科

■ 電気・精密機器	JR東日本情報システム……………1	セレサ川崎農業協同組合……………1
日立製作所……………6	アセチアテカ/ロジソリューションズ……………1	湘南農業協同組合……………1
富士通……………2	■ 運輸	郵便局……………2
富士ゼロックス……………2	センコー……………2	東京消防庁……………1
三菱電機……………1	日本通運……………1	千葉県警察……………1
エコマイルホールディングス……………1	JR東海……………1	鎌倉市役所……………1
■ 情報通信サービス	JR西日本……………1	平塚市役所……………1
日立情報システムズ……………2	京成電鉄……………1	■ その他
リコージャパン……………2	■ 建設・不動産	凸版印刷……………2
富士通エフサス……………2	積水ハウス……………3	岡村製作所……………2
NSD……………2	東急建設……………1	東日本高速道路……………1
NTTソフトウェア……………1	大和ハウス工業……………1	中日本高速道路……………1
NTTコムウェア……………1	ミサワホーム……………1	エイチ・アイ・エス……………1
ヤフー……………1	長谷工コーポレーション……………1	ニトリ……………1
日立ソリューションズ……………1	東急リパブル……………1	リンナイ……………1
日立電子サービス……………1	■ 金融・農協	矢崎総業……………1
NECソフト……………1	イオン銀行……………1	伊藤園……………1
NEC情報システムズ……………1	東急カード……………1	横濱農業協同組合……………1
富士通システムソリューションズ……………1	横浜農業協同組合……………1	東急ストア……………1

採用活動・進学スケジュール

学部3年生 / 修士1年												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
就活ポイント						2ヵ月遅れ		さまざまなステップが集中		選考時期は変わらない		
民間企業 (大手企業)		ナビレオオープン	インターンシップ説明会セミナー	インターンシップ				エントリー	業界研究セミナー・会社説明会	合同企業説明会	採用試験	選考開始
公務員 <small>(受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)</small>											公告	受付期間 国家公務員
進学	大学院に進学するか、就職するか熟慮(年内を目処に) 進学の意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始										指導教授等と相談の上 進学先の決定	

学部4年生 / 修士2年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント	内々定ピーク											
民間企業 (大手企業)	選考開始	エントリー	会社説明会	採用試験			正式内定	10月以降も継続して採用を行っている企業があります。内定を獲得するまで粘り強く取り組みましょう				正式内定
公務員	1次試験	2次試験	最終合格				内定					
	公告	受付期間	1次試験	2次試験	最終合格		内定					
進学 (本学の場合)	大学院推薦入試(A日程) 願書提出/試験			大学院一般入試(B日程) 願書提出/試験				大学院一般入試(C日程) 願書提出/試験				

本学の就職支援スケジュール

世田谷キャンパス (SC) 就職支援	1 年生	2 年生	3 年生								
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
	技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかり頑張ろう!		技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力(技術系就職の基礎)								
	4月: ・キャリアガイダンス ・自己発見レポート ・自己発見レポート フォローアップガイダンス 6月: インターンシップ対策講座 8月: インターンシップ等に積極的に参加 9月: ・キャリアガイダンス	4月: ・キャリアガイダンス ・自己プログレスレポート ・自己プログレスレポート フォローアップガイダンス 6月: インターンシップ対策講座 8月: インターンシップ等に積極的に参加 9月: ・キャリアガイダンス	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成 ・就活入門ガイダンス ・就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・マナー講座 ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス		公務員対策 公務員試験対策講座(集中講座)	いざ!本番に向けて、本エントリー攻略 ・就職ガイダンス(Uターンガイダンス含む) ・進路適性検査 ・就活セミナー ・履歴書・ES対策講座 ・SPI模試				
3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。											

横浜キャンパス (YC) 就職支援	1 年生	2 年生	3 年生								
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
	進路・勉強方法を考えよう!		徹底的な書くチカラの強化…毎回のガイダンスにて400字の作文<履歴書・ES・面接対策>								
	4月: ・自己発見レポート ・自己発見レポート フォローアップガイダンス ・自己分析キャンペーン 5月: インターンシップ対策講座 8月: インターンシップ等に積極的に参加	4月: ・自己プログレスレポート ・自己プログレスレポート フォローアップガイダンス ・自己分析キャンペーン 5月: インターンシップ対策講座 8月: インターンシップ等に積極的に参加	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成 ・職業適性検査 ・就活入門ガイダンス ・インターンシップ ・SPI模試・解説 ・職種ガイダンス		仕事・企業を知る ・業界研究会(全5回) ・質問力養成講座(全3回) ・内定者懇談会 ・環境就職相談会		本エントリー攻略 ・文章力強化講座(全5回)		企業のダイナミズムを知る ・業界研究会(全8回)	
3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。		公務員講座 全学年対象 SPI対策も同時開催		進路個人面談 ・3年生全員対象 ・1人1人の進路に合わせて個別指導		セミナー対策 ・業界研究会研究 ・自己表現強化講座ほか					
資格講座(全学年対象となります)：5月～12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 9月 公務員・SPI試験対策講座											

等々力キャンパス (TC) 就職支援	1 年生	2 年生	3 年生								
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
	授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう!		社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう!								
	進路を考えよう!		少人数から個別対応での就職支援								
4月: ・自己発見レポート ・自己発見レポート フォローアップガイダンス 6月: インターンシップ対策講座 8月: インターンシップ等に積極的に参加	4月: ・自己プログレスレポート ・自己プログレスレポート フォローアップガイダンス 6月: インターンシップ対策講座 8月: インターンシップ等に積極的に参加	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成 ・キャリアデザイン(講義) ・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・業界研究会		公務員対策 公務員試験対策講座(集中講座)		いざ!本番に向けて!本エントリー攻略 ・就職ガイダンス ・就職セミナー ・SPI模試 ・進路適性検査 ・履歴書・ES対策講座				
3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。		資格取得対策 夏季/TOEIC対策集中講座		進路個人面談 ・3年生全員対象 ・進路に合わせて個別指導				実践直結プログラム ・ES対策 ・SPI2対策 ・企業研究実践講座 ・インターンシップ分析 ・就活セミナー ・マナー他			
等々力キャンパスは現在3年生までの在籍です。 4年次以降のプログラムは予定となります。											



3 年 生					4 年 生										
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					今までの学修を生かし、卒業研究に注力(研究内容をしっかりアピールできるように)										
					内定獲得まで諦めない支援										
最終総仕上げ		公務員対策													
<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・ES対策 筆記対策(SPI-一般常識) 面接対策 GD対策 		<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 公務員試験模擬試験 面接カード記入ガイダンス 													
学校推薦		進路個人面談			進路相談強化					個別指導の徹底					
<ul style="list-style-type: none"> 学校推薦ガイダンス 		<ul style="list-style-type: none"> 3年生全員対象 学校推薦対象者決定 大学院進学希望調査 			<ul style="list-style-type: none"> 求人紹介など内定直結型の支援を行う 					<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票を有効活用し、1人1人に求人紹介を行う 進路未決定者に電話をかけ、現状把握と求人紹介を徹底的に行う 					
企業研究会		模擬面接&GD講座		企業研究会	企業研究会					企業研究会		企業研究会			
3日間 75社参加 (全学部参加可)		採用コンサル タンの先生に よる半日かけ での徹底講座		3日間 75社参加 (全学部参加可)	1日間 30社参加					1日間 30社参加		1日間 30社参加			

3 年 生					4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
					徹底的な話すチカラの強化...個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>											
					内定獲得まで諦めない支援											
最終総仕上げ		人事考課														
<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・ES対策 筆記対策(SPI,CAB,GAB) 面接対策 GD対策 		<ul style="list-style-type: none"> 企業の評価基準を考える 														
実践対策講座		絶対内定!			進路相談強化					個別指導の徹底		フォローガイド		個別就職支援		
<ul style="list-style-type: none"> グループディスカッション 集団面接 内定直結ガイダンス ほか 		<ul style="list-style-type: none"> 履歴書/面接の総点検 就活の現状と対策 			<ul style="list-style-type: none"> 進路面談カードを元に面談 求人紹介など内定直結型の支援を行う 					<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票と進路面談カードを有効活用し、志望・適正に応じた求人紹介を行う 		<ul style="list-style-type: none"> 履歴書ES作成 面接攻略法 		<ul style="list-style-type: none"> 進路面談カードを利用し、未内定者に電話をかけ、現状把握と求人紹介を徹底的に行い、内定獲得に結びつける 		
企業研究会		模擬面接&GD講座		企業研究会	学内合同企業説明会											
主要企業 単独5回 実施		採用コンサル タンの先生に よる半日かけ での徹底講座		3日間 150社参加 (全学部参加可)	毎月実施5社~20社											

3 年 生					4 年 生										
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					トビラの向こうへ! 「仕事を考える」就職活動スタート!										
					内定獲得まで諦めない支援										
					就職指導・就職支援										
					保育業界採用スタート										
いざ!本番に向けて!本エントリ攻略		公務員対策													
<ul style="list-style-type: none"> 就職ガイダンス 進路適性検査 就職セミナー 履歴書・ES対策講座 SPI模試 		<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 公務員試験対策講座(保育) 			<ul style="list-style-type: none"> 学内企業説明会、選考会随時開催 					<ul style="list-style-type: none"> 求人紹介など内定直結型の支援を実施 					
進路個人面談					進路相談強化 / 個別指導支援 / 個別就職支援										
<ul style="list-style-type: none"> 3年生全員対象 進路に合わせて個別指導 					<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票を有効活用し1人1人に求人紹介を行う 進路未決定者に対し現状把握と求人紹介を徹底的に行う 										
企業研究会		面接対策		企業研究会						支 援					
<ul style="list-style-type: none"> 等々力キャンパス 単独企業説明会開催 SC,YCとも連携 		<ul style="list-style-type: none"> 徹底面接対策講座 模擬面接&GD講座 		2日間 SC,YCとも連携						卒業後のキャリア支援についてのガイダンス					

横浜キャンパスの巻

横浜市営地下鉄「中川駅」から徒歩5分、郊外の素晴らしい自然環境の中に位置する横浜キャンパス。環境情報学部を擁するこの校舎最大の特徴は、日本の大学としては初めて国際環境規格ISO14001の認証を取得した環境配慮型の施設である点です。一方で最新の通信環境やマルチメディア設備も備えており、「エコキャンパス」&「サイバーキャンパス」として注目を集めています。



建物に囲まれた広場にある情報彫刻家・菊竹清文氏が制作した赤いモニュメント「ACCESS」は、横浜キャンパスのシンボルになっています。人感センサーを内蔵し、人の動きがあると頭頂部が回転する構造になっています。

2号館 (図書館・情報基盤センター)

先進のシステムを完備し、マルチメディア教育の拠点となる情報基盤センター。無線LANの完備や高性能PC約500台を備え、自分のPCを持っていなくてもネット環境や高機能ソフトが使えます。また約100,000冊の蔵書数を有する図書館には、研究に必要な専門的な文献はもちろん、音楽CDやDVDなどの視聴覚資料も多数所蔵されており、勉強はもちろん息抜きにも最適の空間です。



「授業以外の空き時間はほとんどここにきています。位置情報ソフトやフォトショップなど、家にはない高機能なソフトも自由に使えるのでとても助かります。夜の10時まで使えるのも魅力」と言うのは環境情報学科2年の三浦洋介君。

メディアホール

誰でも自由に使用することのできるPCが多数用意されているメディアホール。マルチメディア制作に必要なソフトも充実しており、ゆったりとした空間の中、お互いに意見を出し合いながら課題制作に取り組む姿が見受けられます。市価よりもかなり安く利用できる大型プリンターなども設置されています。



映像メディアルーム

「サイバーキャンパス」の中核を担う演習室。バーチャルシステムを備えたスタジオやプロフェッショナル用の編集機材が完備され、本格的なテレビ番組制作も可能な映像メディアルーム。ハイレベルな映像コンテンツの開発に力を発揮します。



入り口ホールに設置されている大画面DLPマルチモニター。休講情報や施設の利用状況、学内イベントの告知などに使われています。



木の温もりを感じるCIS談話室。月～金は9時から22時、土は9時から17時まで利用できます。居心地の良い室内は、学生達の憩いの場として多目的に使用されています。

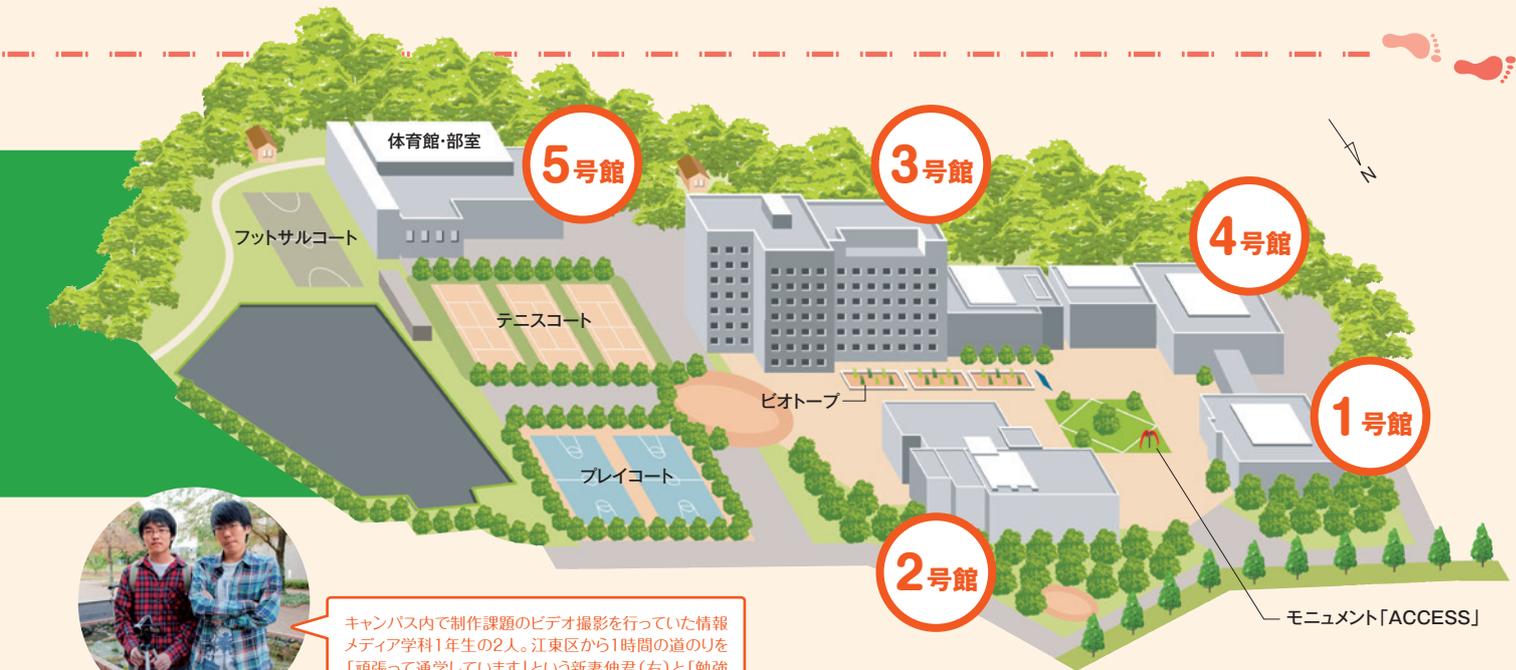


一般にも開放されている遊歩道。竹林があり、一般参加者を募ってタケノコ掘りや竹の間伐体験も。切った竹は竹炭にして大学祭でも販売します。(左)

田中章教授の研究室が企業と共同開発したピオトープシステム。中庭に設置されており、太陽光エネルギーで水を循環させ自然のままの環境を作り出し、ヒートアイランド対策の研究などに用いられています。2009年度エコプロダクツ大賞を受賞。(右)



ゴミの分別ルールはとて細かく、慣れないうちはとまどうことも。ペットボトルのリングを切り取る「ペットボトル分別器」も置かれており、徹底したリサイクルを目指しています。



キャンパス内で制作課題のビデオ撮影を行っていた情報メディア学科1年生の2人。江東区から1時間の道のりを「頑張って通学しています」という新妻伸君(右)と「勉強は厳しいがやりがいがあります」と語る土屋竜佑君(左)。

3号館 (講義・研究棟)

地下2階、地上7階の3号館は教室や演習室が中心の棟。キャンパスライフの中心となる場所で、さまざまな先進の設備を持つ教室やホールを備えた、サイバーキャンパスの名に恥じない未来型の学習空間です。



◎31A教室

定員300名の大教室。階上の教室(約200名収容)とスクリーンなどを連動させて集中操作することができるため、講演などで31A教室に収容しきれない場合には2教室を同時に使用することもできます。



◎FEISホール

270名を収容可能。170インチのスクリーンが設置され、講義やプレゼンなど多目的に利用できます。音響にも優れており、TCU横浜祭ではバンド演奏に使用されることも。外気を取り込む空調装置を備えた省エネホールでもあります。



◎ミニプレラボ

マルチメディアを駆使したプレゼンやミーティングが可能なミニプレラボ。各席に用意されたコンピュータや高輝度プロジェクター、プラズマディスプレイなどを使って情報を共有。先進のコミュニケーション環境を実現しています。

4号館 (食堂棟)

1階に学生食堂、2階に学生ホールが設けられている4号館。勉強に疲れた学生たちがほっと一息つける憩いの場として、また友人との語らいの場としても賑わいを見せています。

◎キャンパスショップ [文具コーナー/ブックコーナー]



学生ホールに隣接するキャンパスショップ。周囲に文具店などが少ない横浜キャンパスでは嬉しい存在。販売業務を担当する勅使河原さんが笑顔で迎えてくれます。



◎学生食堂

採光が工夫され、省エネながら開放的で明るい雰囲気学生食堂は、食事だけでなく仲間たちとのコミュニケーションを深める大切な場所。中川定食(下左)は売り切れ必至の人気メニュー。ショーケース横には栄養バランスガイド(下右)や食材の産地もしっかりと表示されており安心して食事ができます。



クラッチバッグやシャープペンシル、4色ボールペンなどTCUオリジナルグッズも豊富に揃います。



「僕はラーメン系を食べることが多いですね。安くて量が多いので男子には魅力。定食では「中川定食」が人気です」というのは加藤丈明君。浦野瑠璃花さんはお弁当を持参。「学食のメニューももちろん美味しいですが、女子の中にはお弁当を持ってきてみんな食べている子もいますね。今日のお弁当は自作です!」とのこと。2人とも情報メディア学科4年生。

21大学が加盟する東都大学野球連盟で活躍する体育会「硬式野球部」。ストリート系のダンスに汗を流す「ダンス部LAVI」。そして学生生活をサポートする「都市生活学科学生会」。タイプの違いはあれど、それぞれの目標に向かって日々情熱を燃やし続けています。

世田谷キャンパス

技術と精神面の強化で
来シーズンに賭ける

硬式野球部



顧問：丸山 収(都市工学科 教授)

学生責任者：伊藤 貴浩(経営システム工学科2年)

部員数：22名(うち女子部員3名)

主な活動

4月 春季リーグ戦

5月 春季リーグ戦

6月 練習

7月 自主練

8月 夏休み(練習)・夏合宿

9月 秋季リーグ戦

10月 秋季リーグ戦

11月 練習(週3回程度)

12月 練習

1月 自主練

2月 春休み(練習)

3月 春休み(練習)・春合宿

負けず嫌いの熱血主将が新チームをリード

東都大学野球連盟の4部リーグに所属し、2011年の春秋シーズンは芝浦工業大学、東京工業大学、一橋大学と3部リーグ昇格をかけてしのぎを削ってきた硬式野球部。経営システム工学科2年の新主将・伊藤貴浩君を中心に、新チームで来シーズンに臨みます。

「来期のチーム目標は、当然のことながら3部リーグ昇格です。2部リーグは全チームが野球をするために大学に来た選手で構成されていますが、3部でそういうチームは少数。僕らも彼らも同じ人間ですから、3部は手の届く場所だと思っています。目標に向かっていかにチーム内の"温度"を上げていくかが課題ですね」と語る伊藤君。外野手として秋のリーグ戦では高打率をマークした熱血漢です。

そんな伊藤君に、前主将を務めた嘉山智樹君(情報メディア学科3年)も「2011年の秋季リーグはプレーオフに持ち込みながら、土壇場でチームをまとめきれず1対0で敗北。勝利への執念をみんなに伝えることの難しさを痛感しました。新主将には後悔のないよう頑張ってください」とエールを送ります。

東都大学リーグとの架け橋となる"主務"という役職を1年間務めた平野貴啓君(環境情報学科2年)は、役職と選手との掛け持ちでプレーへの専念が難しかったと昨シーズンを振り返り、「僕は投手なんですが、同学年に優れた投手が2人いるため1回しか投球機会がありませんでした。筋トレや投球術の研究を地道に続け、少しずつでも彼らに迫る、来年はそんな1年にしたいと思っています」と目標を語ってくれました。



次シーズンの3部リーグ昇格を目指し、練習にも熱が入る



世田谷区鎌田に2010年から開設された東京都市大学総合グラウンド



練習後はチーム状況を全員で分析。次の試合に備える



打撃のチームとして活躍した2011年の秋季リーグ



冷静な頭脳派プレイヤーが多いが、胸の奥には熱い闘志が!

マネージャーの叱咤激励を胸に 一丸となって来期に臨む

新たに主務の重責を担うのは、機械システム工学科1年の川中子貴紀君。「主務の業務は確かに重圧もあり大変だと思えますが、キャッチャーをやっているのでプレッシャーには慣れてしています。昨シーズンは自分のミスが敗戦につながったり、僅差で負けることが多く、"あのとき自分がこうしていれば"と悔やむことも多かったので、捕手としての技術を向上させつつ、チームの雰囲気作りにも努めたいと思います」と来シーズンへの意欲を語ります。

「1年のときから試合に出してもらっていましたが、今までは先輩についていけただけでした。来シーズンは3年ですし、周囲のことも目を配れると思うので、伊藤君を中心に後輩を引っ張っていければと思っています」と語るのは、新主将の伊藤君から副主将に指名された高橋伶典君(都市生活学科2年)。小学校からシニア、高校野球と野球一筋で、現在はチームの外野のかなめとして活躍する彼も、来シーズンには期するものがあるようです。

3部リーグ昇格に燃えているのは2人の女子マネージャーも同じ。「今年は私自身も悔しかったけれど、選手はもっと悔しいはず。来季はきっと昇格を果たしてくれると思います」(児童学科2年・金有紗さん)、「主力の4年

生が抜けて不安もあると思いますが、仲間を信じて頑張ってくださいです!」(児童学科2年・白井友美さん)と、新チームへの思いを語ってくれました。

周囲の期待を一身に受ける新主将・伊藤君も「今は就職氷河期ですし、勉強や就活が心配で自主練などに身が入らないこともあるのは理解できますが、メリハリのあるチーム作りをしたい」とチーム構想を語ります。

「自分がどれだけメンバーひとりひとりとコミュニケーションを取り、その性格や特性を把握してアドバイスできるかが、チーム浮上の鍵になると考えています。これまでは大きな試合に臨むと"勝たなければいけない"という気持ちが強すぎて、緊張のあまり失敗するというケースが目立ちました。次のシーズンに向けて精神面の強化は急務です。ただ、それを意識しすぎるとマイナスになることも多いはず。普段の生活態度を見直したり、練習に最後まで集中して臨むことから精神面の強化に取り組みたいと思います」(伊藤君)

新主将を筆頭に、自己分析に長けた冷静なメンバー揃いの硬式野球部。2012年春季リーグ開幕が今から楽しみです。



新主将の伊藤貴浩君(経営システム工学科2年)は熱血野球漫画「キャプテン」の大ファン。「野球はやっぱり努力と根性です!」



副主将の高橋伶典君(都市生活学科2年)は外野ならどこでもこなすが、守り慣れたレフトが一番しっくりくるという。



横浜ベイスターズの大ファンという平野貴啓君(環境情報学科2年)。投手だが「石井琢朗(元横浜)が守ったショートにも憧れます」



前主将の嘉山智樹君(情報メディア学科3年)はアンダースロー投手。「来期はプレイヤーに専念してピシッ投げます!」



「野球とオフの切り替えも大切。バイトや学業と部活のバランスを大切にしたい」と語る白井友美さん(児童学科2年)。



「キャッチャーの面白さは自分で試合を作れること」と語る川中子貴紀君(機械システム工学科1年)は小学校から捕手一筋。



「今季味わった悔しい気持ちを練習や試合に思い切りぶつけて!」と選手たちを鼓舞する金有紗さん(児童学科2年)。

横浜キャンパス

クラブイベントの開催で学外にも活躍の場を拡げる

ダンス部 LAVI



顧問：川村 久美子(情報メディア学科 教授)

学生責任者：山内 靖文(都市生活学科3年)

部員数：29名(うち女子部員10名)

主な活動

4月 スプリングフェスティバル/新生歓迎会

6月 TCU横浜祭

8月 合宿

9月 クラブイベント

11月 TCU世田谷祭

2月～3月 クラブイベント

学園祭とクラブイベントで 学内外に存在感をアピール

横浜キャンパスで活動するダンス部「LAVI(ラビ)」は、数年前に部活動に昇格したばかり。

「僕が入学する1年前に部に昇格しましたが、それ以前も同好会として長い活動歴があります」と語るのは部長の山内靖文君(都市生活学科3年)。創設は1997年までさかのぼるそうです。

彼らが没頭するストリート系のダンスには、ブレイクダンス、ヒップホップ、ロック、ハウスといったジャンルがあり、部員それぞれが数名のチームを作って日々練習に励んでいます。

「6月のTCU横浜祭、11月のTCU世田谷祭での発表も大きな舞台ですか、僕が1年のときにクラブイベントを始めました。これは年に2回、クラブを借り切ってダンスイベントを行うもので、お客さんはすべて外部の人。大学祭とはまた違った緊張感と楽しさがあります」(山内君)

真剣にダンスに取り組む彼らの練習はかなりハード。横浜キャンパスのトレーニングルームを使った練習は月・水・土の週3回ですが、個人練習やチームごとの練習も熱心に行っているそうです。1歳半から水泳を続けているという荻田涼君(エネルギー化学科3年)は「僕がやっているハウスというジャンルはステップを激しく踏むので体力勝負。今も高校の水泳部の合宿に参加して体力維持に努めています」という

から、並大抵の打ち込み方ではありません。

山内部長が「ダンスエリート」と表現する1年生のホープ・長濱俊君(情報メディア学科)も「小学校1年から自主的にダンスを始めました。厚木の自宅から新宿の教室まで通っていたのですが、最初はスキップすらできなくて(笑)。高校のときはダンス部がなかったのでやむなく体操部に入りましたが、他の高校のダンス仲間が部活を楽しんでいるのがうらやましくて。だから大学では部活動として目いっぱいやりたいと思っています」と意欲的です。

見た目は草食系でも ダンスにける情熱は肉食系!?

一方で「初心者歓迎」を掲げるLAVIには大学からダンスを始めた部員も。「友だちに誘われてLAVIに入ったのですが、最初は人に見られながら踊ることに羞恥心があって大変でした。中学ではソフトテニス、高校でバレーボールを経験しましたが、どちらも複数で戦うスポーツなので、試合中に注目されて恥ずかしいということはありませんでしたから」と当初の戸惑いを語ってくれたのは、都市生活学科2年の外山里美さん。

同じく大学からダンスを始めた有村将希君(情報メディア学科1年)は「高校のときはダンスミュージックが好きでDJに興味があったため、すぐダンスのうまい友人と一緒に文化



TCU横浜祭、世田谷祭はクラブイベントと並んで重要な発表の場



TCU横浜祭でLAVIのイベントをアピールする部員たち。今後は他サークルとの合同イベントも考えている



9月のイベントに備える夏合宿はかなりハード。「クラブイベントはお金を頂くのできちんとしたものを見てもらいたい」(山内部長)

祭でイベントをやろうと思ったのですが、結局実現できませんでした。大学では何かきちんと形に残したいと思ってLAVIに入ったんです」とLAVIに入った動機も人それぞれ。

同じ1年生の小川智美さん(情報メディア学科)は「高校のときダンス部に入ったのですが、私たちの代から外部のコンテストや大会に出て活発に活動するようになり、今ではダンスで有名な高校になりました。顧問の先生から「君たちが頑張ったおかげ」と言ってもらって……あの熱気を大学でも経験したかったです」とダンスに賭ける思いを語ります。

中学まで新体操をやっていたという情報メディア学科2年の小川泰奈さんも、やはり高校の部活でダンスの魅力にはまったのだとか。「高校がダンス強豪校だったので、新体操とは違う形で踊れば良いな」と思い始めました。表現力や人前で踊るといった点でダンスと新体操は共通点があると思います」

中高6年間を体操に捧げたという宇田川裕之君(情報メディア学科2年)も、体操とダンスの共通点を挙げてくれました。

「鞍馬に「トーマス」という技があるのですが、僕がやっているブレイクダンスにも同じ技があります。ただ、バク宙などダンスにそのまま使える技もある一方、体操では音楽に合わせて動くということがないので最初はガチガチでした」と苦労談も。

個性的なメンバーに囲まれながらも部をまとめていけるのは「ガチガチの組織ではないから」と言う部長の山内君。

「ダンスはスポーツというより文化系。OBの方々も先輩後輩というより「仲間」として指導に来てくれたり、一緒にイベントを楽しんだりしています。大人の人たちがダンスに対して持つイメージと違って草食系な感じ(笑)。今後も学内の他のダンスサークルとの交流を深めるなどして、仲間を増やしたいです。仲間が多ければ出来るダンスのバリエーションも増えますし、何より楽しいですから」と今後の展望を語ってくれました。



部長を務める都市生活学科3年の山内靖文君。「YOU GOT SERVED」という映画に魅せられたのがダンスにはまるきっかけだったとか。



荻田涼君(エネルギー化学科3年)は高校の文化祭でミュージカル「ウエストサイド物語」に挑戦。ダンスの楽しさに目覚めたという。



12年のダンスキャリアを誇る情報メディア学科1年の長濱俊君。高校のときは体操部に所属したためアクロバットなどもお手の物。



もともとダンスに興味があったものの、大学までチャンスがなかったという都市生活学科2年の外山里美さん。LAVIに誘ってくれた友人に感謝!



高校時代の友人の影響でダンスを始めたという有村将希君(情報メディア学科1年)。「いつか追い越してやろうと思っています」



「LAVIは部活というより、ダンスでつながる関係」と小川智美さん(情報メディア学科1年)。ただし練習は外部コーチも招きます



「ブレイクダンスは床との戦い!」と力説する宇田川裕之君(情報メディア学科2年)。「大きな怪我はないけど常に生傷が絶えません」



高校の仲間とは今でも友だちという情報メディア学科2年の小川泰奈さん。「今もみんなダンスで頑張っているのだから負けたくない!!」

自分たちの手で学科の『伝統』を作り上げる楽しさ

都市生活学科学学生会



顧問：平本 一雄(都市生活学科 教授)

学生責任者：斎藤 佑樹(都市生活学科2年)

部員数：15名(うち女子部員7名)

主な活動

4月 フレッシュヤーズ・キャンプ/総会
学内コンペ(予定)

6月 Take Action

11月 TCU等々力祭

2月 フレッシュヤーズ・キャンプ準備開始
建築ツアー(予定)

※スタート時ならではの苦労とやりがいを経験

2009年の都市生活学部設立と同時に、等々力キャンパスに誕生した都市生活学科学学生会。学生生活を送る上で欠かせない存在である学生会の運営は、手探りの状態から始まりました。

「初代の学生会はクラスごとに指名された人たちの集まりで、やる気のない人もいれば、やたらと出しゃばる人もいて(笑)とにかく大変でした」と当時を振り返るのは3年生の初代メンバー・柳下昭一朗君。

「一期生で前例がないために手探りである反面、企画を出すとすぐに通るという感じ。その場の思いつきでフリーペーパーを発行するなど、みんな楽しんで活動していました」(柳下君)

そんな先輩たちから新会長を任された2年生の斎藤佑樹君。いま一番の問題は学生会の活動が学生に知られていないことだと言います。

「学生会の一番のアピールポイントとなるのは、毎年4月に行われるフレッシュヤーズ・キャンプです。新入生が大学生活に慣れるための交流の場で、通常は1泊2日の泊まりがけで行います。ただ2011年度は震災の影響で開催できず、7月に代替イベント『フレッシュヤーズ研修』を行ったものの、新入生へのケアが不十分だったように思います。学生会の存在を

知ってもらおう絶好のチャンスでもあっただけに残念に思っています」(斎藤君)

学生会は職務によって企画部と広報部に分かれており、2年生の佐賀良健斗君は企画部長を務めています。

「フレッシュヤーズ研修では都市生活学科と児童学科合同で、スポーツ大会などを行いました。普段両学科の学生はまったく接点がなく、チーム分けや競技選びで不満の声も出ましたが、最終的にはみんなが盛り上がりくれたので、企画した者としては満足しています」と苦労話を披露してくれました。

※期待の新人が続々参加新たな企画も目白押し

広報部長を務めるのは2年の江上博子さん。柳下君たちが始めたフリーペーパーを定期刊行物にするため日々奮闘しているそうです。



代替イベントとして開催された「フレッシュヤーズ研修」だったが、交流会(上)やクイズ大会(左)で大盛況



児童学科学生会と合同で主催した「新入生交流会」



学生に向けて「自分から行動を起こそう」と提案することが趣旨の新イベント「Take Action」



「オープンキャンパス」ではスタッフシャツを着て、見学者をサポート

「今年度は今のところ2号発行することができました。本当は4号が目標なのですが、少しずつでもいいから、学生会の伝統のようなものを作ってあげたいと思っています」(江上さん)

『Take Action(テイク・アクション)』という新イベントの立ち上げで、中心的な役割りを果たしたのは2年生の寺山智洋君。

「この学科ではどんなことができるのか、先輩たちがどんなことをしてきたのかを、新入生にわかりやすく紹介しようという企画です。大学で何をすべきか方向性の定まっていない人に対して、イベントを通じて目的意識や向上心を持ってもらいたいと思い企画しました」と真剣なまなざしで語ってくれました。

このような先輩たちの努力は確実に実を結んでいるようで、学生会の1年生は意欲的なメンバーばかり。

「文章を書くのが好きなので、広報部でフリーペーパー制作に関わらせてもらっています。先輩たちと関わること自体

が面白いし、新鮮です」(1年・佐藤ゆりさん)

「大学って自分から行動しないと、ふわふわしているうちに卒業してしまう気がします。自分のためになる活動をしたくて学生会に入りました」(1年・齋藤美保子さん)

「中学高校と生徒会や文化祭実行委員として活動し、学校行事に関わる面白さを体験しました。自分たちの企画でみんなが楽しんでいる笑顔を見るのが好きで、それを生き甲斐に活動しています」(1年・寺尾巧君)

と、いずれも貴重な戦力として活動に参加しています。

『学内コンペ』(学生によるデザインコンペ)や『建築ツアー』(教授と学生による建築物の見学会)といったユニークな新企画も動きだし、活気にあふれる都市生活学科学生会。「できるだけ毎年定例の企画として続けられるものを後輩たちに残そうと、みんな必死です。学生会が一から築き上げたものがこの先何年も残って行ってくれれば、僕たちも嬉しいですし、大学のためにもなるのではないかと考えています」と、齋藤会長の言葉にも思わず力が入りました。



会長就任以前は人前で話すのが苦手だったという齋藤佑樹君(2年)。「いろいろ貴重な体験をさせてもらっています」



柳下昭一朗君(3年)は前広報部長。「僕らが立ち上げたフリーペーパーを今後もずっと続けてくれたら嬉しいです」



佐賀良健斗君(2年)が企画したスポーツ大会では綱引きを開催。「調整が大変でしたが盛り上がってくれて良かった」



「フリーペーパー作りはまだ未熟。やりながら学んでいきたいと思います」と謙虚に語る広報部長・江上博子さん(2年)



「大学生活は最初つまずくと後が大変」という寺山智洋君(2年)。「とにかく無気力にならないで欲しい」と熱く語る。



「グループでの共同作業を体験することは、就職したときに役立つと思う」としっかりした展望を語る齋藤美保子さん(1年)。



「将来はイベントに携わる仕事に就きたい」という寺尾巧君(1年)。「学生会の仕事は自分の将来の土台作り」と語る。



高校時代はプール監視員のバイトを続けていた佐藤ゆりさん(1年)。「書くことが好きで、将来は広告や雑誌編集の仕事我希望。」

第82回 TCU世田谷祭

1人ひとりに「新発見」を

第82回 TCU世田谷祭実行委員会 会長 君垣 敦
工学部 機械システム工学科2年

2011年11月20日から22日の3日間、世田谷キャンパスにおいて第82回東京都市大学TCU世田谷祭が開催されました。

世田谷キャンパスの大学祭は80回以上の歴史と伝統があります。大学名が東京都市大学となって3年目ということもあり、東京都市大学や世田谷キャンパスの特色をより活かしていこうと「TCU祭」から「東京都市大学TCU世田谷祭」と名称を改め、「都市大、新発見。」というテーマのもと、都市大や大学祭の楽しさなど様々な新発見をしていただけるような大学祭を目指しました。

「新発見」をしていただくために、科学体験教室や都市大ウォーカー、都市大生による就活セミナーなどお馴染みの企画はもちろん、今年度は本学教授による模擬講義や経済評論家の門倉貴史さんによる講演会などの企画を用意しました。また、後夜祭を始めとする企画やKOTOKOさんによるライブなどもご好評を頂きました。

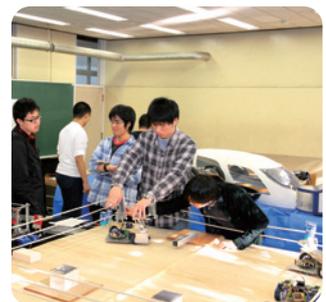
開催前日は雨風が強く初日の開催が危ぶまれましたが、当日は上着が要らない程の暖かさで、TCU世田谷祭をより一層盛り上げる天候となりました。

また2日目、3日目は平日開催となりましたが、学内生を中心とした多くの方々に足を運んで頂き、例年以上の賑わいを感じる事が出来ました。

私達は1年間、TCU世田谷祭開催に向けて様々な議論、準備を積み重ねた結果、多くの方々のご協力により無事開催する事ができました。またお越しいただいたたくさんの方々1人ひとりに「新発見」をしていただけたなら、実行委員会一同大変嬉しく思います。

最後になりましたが、第82回東京都市大学TCU世田谷祭を開催するに当たりご支援、ご協力頂いた皆様、そして当日お越しいただいた全ての皆様に熱く御礼申し上げます。

来年度のTCU世田谷祭もぜひご期待ください!



課外活動短評

- 吹奏楽団……2011年10月22日にティアラこうとうで第47回定期演奏会が開催され、約450名を動員し、大好評を得た。
- 文化団体連合会……2011年10月30日に渋谷の「GUILTY LIVE STAGE」にて音楽団体の合同ライブ「バンドフェスティバル」を開催し、150名の方にご来場いただき、好評を得た。
- 学科研究会連合……2011年10月23日に多摩川清掃工場の「環境フェア2011」において「科学体験教室」を行い約200名が参加し、大変好評を得た。
- フットサル部……2011年9月12日に行われた「第5回カレッジフットサルフェスタ全国大会」(298チーム参加)に出場し、見事優勝した。

- 剣道部……2011年6月26日に埼玉県立武道館にて行われた関東理工科系剣道大会にて団体戦(40チーム中)準優勝、個人戦(117名参加中)3位入賞の結果を収めた。
- ラグビー部……平成23年度地区対抗関東1区1部リーグにおいて6戦全勝、関東1区代表決定戦に出場し勝利を収め、3年連続21回目の全国大会出場を果たした。
- アメリカンフットボール部……関東学生アメリカンフットボール連盟2011年秋季リーグ戦2部リーグにおいて優勝し、1部入替戦にて勝利を収め、1部昇格を果たした。
- モーターサイクル部……シリーズ戦で行われる大学対抗オフロードレース、キャンパスオフロードミーティング(CAM-OFF)東日本大会にて優勝し、全国大会では準優勝の成績を収めた。

第3回 TCU等々力祭

『都市・復興・子どもたち』を テーマに

平成23年度 TCU等々力祭運営委員会 会長 森山 仁太
都市生活学部 都市生活学科3年

2011年11月20日(日)、等々力キャンパスにて第3回東京都市大学TCU等々力祭を開催致しました。

3月11日の東日本大震災を受けて、テーマは「都市・復興・子どもたち」。今、自分達に出来ることは何かと考え、自分を含め委員会のメンバーで被災地に赴き、瓦礫撤去や視察を行い、被災地の現状を自分の目と身体で感じてきました。そして当日は、その現状を伝える為の企画や、震災に照準を合わせた講演会等も行いました。

TCU世田谷祭と同時開催でシャトルバスを運行させた効果もあり、来場者数は、昨年度のTCU桐華祭の約750人を大きく上回る約2,200人ももの来場がありました。

テーマ催事として開祭式、閉祭式後と2回行われたバルーンリリースでは、風船に「祈・復興」と書かれた短冊を取り付けました。空高く舞い上がった風船に託して、参加していただいたお客様とともに被災地の復興をお祈りしました。

都市生活学部1期生として入学し、大学祭の委員会を立ち上げ、先輩がいない状況でここまで辿り着きました。同期に、後輩に、キャンパスや学年は違っても助けてくれた仲間、無理なお願いを聞き入れてくださった学生支援センター、私達を支えていただいた多くの皆様に、心の底からお礼を申し上げます。

今後私たちTCU等々力祭運営委員会は、お客様に楽しさや喜び、感動を与えられる大学祭を目指して邁進してまいります。



バンドフェスティバル

ジャンル不問!12バンドの 個性溢れるバンドフェスティバル

平成23年度 文化団体連合会 本部長 岩田 景子
工学部 原子力安全工学科2年

平成23年10月30日(日)、東京都渋谷区LIVE STAGE GUILTYにおいて文化団体連合会主催のバンドフェスティバルが開催されました。

年に一度の大きな行事として定着しつつあるバンドフェスティバルですが、今年度は、本学の新聞会、マルチメディア研究会ALICEに取材・広報の協力を得て、当日は150名近い来場者で、会場内は身動きが取れない程の大盛況となりました。

バンドフェスティバルは昨年度に引き続き、文化団体連合会所属の全6軽音楽団体が夏合宿や日頃の練習の成果を發揮すると共に、キャンパスもジャンルも異なる各軽音楽団体の交流を深めることで、更なる演奏技術の向上を目的としています。

今年度は、世田谷キャンパス所属のウエスタンクラブ、フォークソングクラブ、ハワイアンクラブ、パチエラーフ、軽音楽団体スナイパーズ、横浜キャンパス所属の音楽団体PLAMの6団体から各2バンド、計12バンドが出場。それぞれが軽音楽団体を代表するバンドということもあり、高い演奏技術、ステージパフォーマンスで来場者を魅了しました。

ジャズ、POP、メタルなど様々なジャンルが一同に会した今回のバンドフェスティバルを通じて、学年、学科、キャンパスを越えた新しい繋がりが生まれたと思います。

大きな事故もなく2011年バンドフェスティバルを無事終了でき、協力して頂いた沢山の皆様には言葉では言い尽くせない程感謝しております。ありがとうございました。



事務局便り

会員の皆様には、日頃から大学行事、課外活動に対して温かいご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。東京都市大学に名称を変更して3年目となり、着実に成果が上がっております。学生部としては、教職員が一丸となって充実した大学生活を過ごせる環境を実現するよう、日々取り組んでおります。

私は、9月に地方で開催された「大学と保護者との連絡会」に出席し、多くの保護者の皆様と有意義な意見交換を行うことができました。特に、最近の厳しい就職状況から大学の支援策について質問が出ましたので、就職支援プログラムをご説明しました。また、地元企業の雇用状況と就職試験については、OB組織である武蔵工業会の支部役員の方から丁寧な説明がありましたので、大学の説明と合わせて、出席者のご理解に役立てたと思います。

これからも社会に貢献する人材を輩出するように、学生の教育・指導を行ってまいりますので、引き続き皆様からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



等々力キャンパス副学生部長
渡辺 日佐夫
都市生活学部 都市生活学科 教授

🌸🌸 平成23年度 🌸🌸 「大学と保護者との連絡会」実施結果 🌸🌸

平成23年度の「大学と保護者との連絡会」は9月3日(土)から始まり、最終日の10月22日(土)東京・横浜地区までの間、全国19会場において開催されました。各会場の出席状況は以下のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

🌸 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月10日(土)	札幌全日空ホテル	7
仙台	9月11日(日)	仙台国際ホテル	17
宇都宮	9月10日(土)	ホテルニューイタヤ	27
水戸	9月 3日(土)	三の丸ホテル	24
さいたま	9月10日(土)	マロウドイン大宮	42
高崎	9月10日(土)	ホテルメトロポリタン高崎	25
新潟	9月11日(日)	ホテルオークラ新潟	11
世田谷	10月15日(土) 10月22日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	731
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	157
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	290
甲府	9月 3日(土)	ロイヤルガーデンホテル	15
長野	9月 4日(日)	ホテルJALシティ長野	15
富山	9月 3日(土)	名鉄トヤマホテル	9
沼津	9月 3日(土)	沼津東急ホテル	33
静岡	9月 4日(日)	静岡グランドホテル中島屋	59
浜松	9月 3日(土)	オークラアクトシティホテル浜松	30
名古屋	9月 4日(日)	名古屋国際ホテル	25
広島	9月 3日(土)	リーガロイヤルホテル広島	8
福岡	9月 4日(日)	ホテル日航福岡	19
合 計			1544

🌸 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	8	10
青森	2	1
岩手	0	1
宮城	14	11
秋田	5	10
山形	4	6
福島	12	21
茨城	59	57
栃木	46	49
群馬	35	29
埼玉	100	76
千葉	66	63
東京	317	314
神奈川	574	547
新潟	17	21
富山	9	9
石川	1	5
福井	3	4
山梨	20	25
長野	31	31
岐阜	3	5
静岡	152	146
愛知	18	15
三重	3	6
滋賀	1	1
京都	0	0
大阪	2	0
兵庫	2	1
奈良	1	0
和歌山	0	2
鳥取	1	0
島根	2	1
岡山	1	3
広島	8	6
山口	2	3
徳島	0	0
香川	1	2
愛媛	0	1
高知	1	2
福岡	12	14
佐賀	2	1
長崎	0	2
熊本	1	0
大分	3	12
宮崎	3	3
鹿児島	2	1
沖縄	0	0
合 計	1544	1517

TCU-COM
2012.January

no.
45

発行 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2187 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp